

みずほCustomer Desk Report 2018/08/28 号(As of 2018/08/27)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.25 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.29	1.1646	129.60	1.2857	0.7343
SYD-NY High	111.38	1.1693	129.83	1.2901	0.7357
SYD-NY Low	110.94	1.1595	128.80	1.2830	0.7308
NY 5:00 PM	111.06	1.1678	129.74	1.2896	0.7347
NY DOW	26,049.64	259.29	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	8,017.90	71.92	日本10年債	0.0900	▲1.00bp
S&P	2,896.74	22.05	米国2年債	2.6433	2.10bp
日経平均	22,799.64	197.87	米国5年債	2.7404	2.56bp
TOPIX	1,728.95	19.75	米国10年債	2.8450	3.25bp
シカゴ日経先物	22,920.00	305.00	独10年債	0.3745	3.20bp
ロンドンFT	-	-	英10年債	1.2735	▲0.30bp
DAX	12,538.31	143.79	豪10年債	2.5405	▲0.10bp
ハンセン指数	28,271.27	599.40	USDJPY 1M Vol	6.47	▲0.05%
上海総合	2,780.90	51.47	USDJPY 3M Vol	7.20	▲0.11%
NY金	1,216.00	2.70	USDJPY 6M Vol	7.61	▲0.08%
WTI	68.92	0.20	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	192.87	0.79	EURJPY 3M Vol	8.48	▲0.05%
ドルインデックス	94.75	▲0.39	EURJPY 6M Vol	8.83	▲0.22%

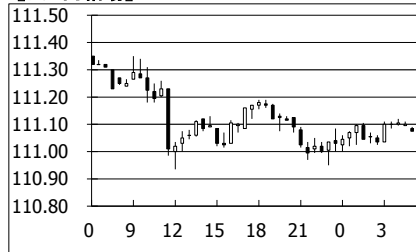
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月27日	17:00	独	IFO企業景況感指数	8月 103.8 101.8
	17:00	独	IFO期待指数	8月 101.2 98.4
	17:00	独	IFO現況指数	8月 106.4 105.3
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	7月 0.13 0.45

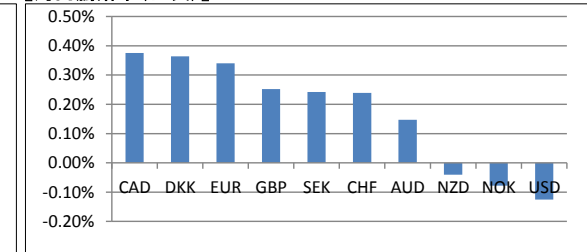
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月28日	20:00	欧	プラートECB専務理事 講演	-
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	7月 0.2% 0.1%
	23:00	米	コンファレンス・ボード消費者信頼感	8月 126.6 127.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.70-111.70	1.1620-1.1720	129.30-130.30

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は方向感なく推移した。米国とメキシコがNAFTAへの再交渉で合意したとの報道を受け、リスクオンムードがやや強まり、米S&Pは最高値を連日更新。ドルは主要通貨に対して続落したものの、ドル円は111円を挟んでの小動きとなった。本日のドル円は方向感なく推移すると予想。米中通商協議やジャクソンホール等の重要イベントを通過し、次の方向感が出るには新たな材料が必要な状況である。本日のドル円に関しては、特段の新規材料が出ない限り、111円近辺で推移しそうだ。

東京	ドル円は朝方にこの日の高値となる111.38をつけた後、東京時間は111.29レベルでオープン。先週末に米長期金利が低下する中で長短金利差が2007年ぶりの水準まで縮小した他、ポンペオ米務長官の訪朝計画が中止となり米朝関係悪化懸念が高まるなど、週明けも不安材料が意識される状況。ドル円は上値の重い展開が続く、堅調推移する日経平均株価を横目にじりじりと値を下げて、先週末金曜日の安値111.10を下抜けるとそのまま一時110.94まで急落。同水準では買い意欲も見られ、直ぐに111円台を回復。その後は111円台前半での小幅レンジ内の推移となり、結局111.03レベルで海外へ渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	先週行われた米中通商協議で具体的な進展がなかったことや、トランプ米大統領が北朝鮮との非核化協議の停滞を理由に米務長官の訪朝中止を指示したこと等を背景に米国と各国の関係悪化が再び意識される中、海外時間のドル円は一時111円を下抜け110.94を付け、111.20まで戻すも上値は重く、111.02レベルでNYオープン。朝方は対ユーロ主導でドル売り優勢な展開となる中、110.95まで下落するが、「米国とメキシコがNAFTA再交渉で一部合意、米国はカナダとの協議も再開する方針」とのヘッドラインが流れると、米加貿易協定締結への期待が高まり、加ドル円の上昇に連れてドル円は111.08まで反発。その後111.00まで戻すも、米金利上昇や米株の堅調推移にサポートされてドル円は111.12までじりじり上昇。終盤は方向感なく推移し、111.06レベルでクロス。NY時間のドル円の値幅はわずか17銭となった。海外市場のユーロドルは1.1646まで上昇した後、ユーロ買いが一服したことから1.1595まで反落するが、独8月IFO企業景況感指数が予想以上に良好な内容となり、欧州株もプラス圏で推移するとユーロ買い戻しの動きとなり1.1630レベルでNYオープン。朝方は特段新規材料なく、ロンドン休日のため参加者も少ない中、1.1644まで上昇。その後もユーロ高の展開が続く、海外時間高値を上げると1.1693まで上昇。一旦1.1675まで反落するも、終盤は高値圏での小動きとなり、結局1.1678レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 濱・鶴田